第２６回花見川区北部地域バス路線三者協議会（書面会議）議事要旨

１　**日時**　令和６年１０月１９日（土）　１０：００～１１：３０
２　**場所**　北清掃工場　２階会議室
３　**委員**
【自治会】
第１０地区連協会（欠席）、下横戸第三自治会（欠席）、こてはし台自治会（欠席）、横戸台自治会、第２２地区連協会、柏井新田町内会、新鷹の台第一自治会、鷹の台自治会、千代の台自治会、第４２地区連協会、千種町自治会、三角町自治会、千種台ハイツ自治会、犢橋町草原自治会（欠席）
【バス事業者】
京成バス株式会社　営業部乗合営業課
【千葉市】
花見川区地域づくり支援課、交通政策課
【オブザーバー】
八千代市都市整備部都市計画課

４　**配布資料**
・座席表
・委員名簿
・花まわる号　路線図、時刻表
・資料１利用状況について
・資料２乗降調査について
・資料３直近５年間の利用状況について
・資料４今後の運行について
・参考資料１花見川区北部地域バス路線三者協議会の概要
・参考資料２花見川区北部地域バス路線三者協議会設置要綱

５　**議題及び議事要旨**
（１）会長の互選について
・三者協議会会長は委員の互選により、鷹の台自治会 藤井会長が就任。
・副会長は、こてはし台自治会須田会長及び千種町自治会田口会長が引き続き就任。
以下、三者協議会藤井会長の司会により進行
（２）花まわる号の概要・三者協議会の概要 ［参考資料１、参考資料２］
事務局から三者協議会設立の経緯や路線の目的等について説明。
・委員はH29年4月のルート見直し時点で影響が考えられた自治会で構成している。ルート沿線の全ての自治会を委員に含める案もあったが、議論集約が困難になるため、前会長とも協議の上決定した。今後、委員構成を変更していく検討も可能である。

（３）利用状況の報告［資料１－１、１－２、１－２、１－３、１－４、１－５、3］

・「花まわる号」の利用者数について、令和６年度は１８３名/日であり、令和５年度からはコロナ渦以前を上回る水準となっている。

（４）乗降調査について［資料２］

・令和６年７月の乗降調査では、１週間で１，３３４名が利用している。

・曜日により利用者数に波があるが、これは天候による影響であると考えられる。

（５）今後の運行について［資料４－１、４－２、４－３］

・かねてよりバス業界の課題である乗務員不足に加え、国が掲げる「働き方改革」の一環として2024年4月よりバス乗務員の労働環境改善を目的として、勤務時間が短縮されたことに伴い、現状の乗務員数でこれまでと同じ運行本数を確保することが難しくなったため、１便あたりの平均利用者数が他の便よりも少ない【19:00いきいきプラザ発の外回り便】と、【20:00いきいきプラザ発の内回り便】の計２便を減便したい。

・減便による最終便時刻繰り上げを緩和するため、その他便の運行時刻変更を検討。京成バスで資料４－３のとおり、改正後のダイヤ（案）を作成した。

・改正の方針については了承が得られた。改正後のダイヤについて、各委員に地域への周知及び意見等の収集を行っていただきたい。意見の収集方法は、京成バスと事務局で協議の上、事務局を通じて後日提案する。

・具体的なダイヤの内容は、収集した意見を基に、再度協議会を開催して決定する方針としたい。

（６）寄せられた意見・要望

・もともと花見川区北部地域はバス路線が充実していなかった場所であることもあり、地域や事業者、行政で話し合った結果、現在の路線となっている。改善告示の影響は大きいため、利用者が少ない路線の減便はやむを得ない。

・横戸や柏井方面から花見川区役所（保健福祉センター）に行く場合、花まわる号でいきいきプラザまで向かい、区役所入口で降車しなければならないため、直通の便を設定してほしい。ＪＲ新検見川駅行きの便（検見川線２１、２３）を花見川区役所を経由するようにしてもらいたい。（区役所入口⇒JR 新検見川駅を区役所入口⇒花見川区役所⇒JR 新検見川駅に変更）

・京成大和田駅と追館の停留所間に所停留所を設けてほしい。

・花まわる号のダイヤ改正の際、発着時刻の調整や他の便との接続を調整してほしい。

・横戸台の中心部へのアクセスが悪く、ルートを変更等の対応はできないか。

・市としても財政負担が大変だと思うが、過疎地の交通インフラとして、市営バスやコミュニティバスなど高齢者の足の確保を検討してもらいたい。

・減便後のダイヤは各自治会からの意見を集約するとともに、京成バスで具体的な対応検討することは可能である。

以上